



常磐炭界を祝福
徳山炭田監督局の出張所
が其の創設を取沙汰されて
間もなく極めて急進に實現
された事は、炭産業者の

發表は明後十二日
所得調査員選挙了る
市郡下四万人の市町村會或は農林院議員選挙とは大に違つて僅々千五
百人足らずのインテリによつて行はるる所得調査員選挙は

謝禮を献金
市白銀町不ニタクシ方
へ寄託
市白銀町不ニタクシ方
へ寄託
市白銀町不ニタクシ方
へ寄託

内郷合同村葬
護國の英靈を送る感涙語
何れも来る十六
日午後一時から小學校に於て左記の通り村
葬が執行される

幼き遺児二人
本田平署長泣く
昨日九日公葬に附、者の涙をこぼつた
れ、安慶の華、
中野村出身の若田
中野君の後に

職工及見習工募集
指物工二名 (給面談)
見習工
一、旋盤部、仕上部、鑄物部、
木型部、製罐部、電氣部各五名
通勤、住込隨意、委細來所サレタシ
平月見所 佐藤鐵工場
電話三六二

最優等に局長賞
縣下清酒品評會
愈よ明下二日から
縣酒造組合聯合會主催第十
三回縣下清酒品評會は

磐中から慰問文
各關係者へ發送
全生徒徒を動員し
生徒の理髪作業による慰問し前線に活躍する各家庭に
献金などに大に後援願望するの將兵に慰問文を送る事
を強請してある磐中では今更となり目下取り纏めの中であ
る全千名餘名の生徒を動員するが右は前線將兵に感謝

徳島蘇峰翁講演會
來月五日來平を機に
支部發會式を舉行
市教育會では延期した徳島市午後一時から同村中
山蘇峰翁の講演會を來月五日光林寺に蘇峰品評會を機
に午後一時から公會堂に開いた、出品五十二點、二十
日午後一時から公會堂に開いた、出品五十二點、二十
日午後一時から公會堂に開いた、出品五十二點、二十

先輩に感謝
市内久保町出身
酒井貞良君
過日の慰問袋滿洲の地、
頂き取るものも取らぬ
さ直ぐに開き見れば思はぬ
時に内地の品々、見るから
故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何

視察の旅先から
本日四日天高波亦静かな
り、産業報國の目的を達
し、益々船中元節なり
明日支那に上陸して懸命
の視察致度候、幸に郷土
の出征軍人に會見出来れ
ば仕合せ
上海九にて
鈴木唯治
十月四日 船中の深夜

吉田眼科醫院
簡易金融
無盡貯蓄
趣味貯蓄
出張所縣内各町

好問組頭
大河原氏就任
好問村消防組頭は渡邊清氏
の辞任によつて大河原茂氏
が就任せられ、十日午前十
時から平署で發會式を
舉行

歩ける様になつた
再度の御奉公を期す
元入山従業員 齊藤修平君(通)
小童受傷後一ヶ月を經過せしめて皆々慰問を受けしやあつたが、
旅順陸軍病院様の御期待に添へずとも、苦悶之中に就を取りつ、
にて治療中の無き御場に多謝の戰友とある戰友に對し、今更
に送命を内れ地獄を脱して歸りたる事、皆に申す所ありませぬ、
送命を内れ地獄を脱して歸りたる事、皆に申す所ありませぬ、
送命を内れ地獄を脱して歸りたる事、皆に申す所ありませぬ、
送命を内れ地獄を脱して歸りたる事、皆に申す所ありませぬ、

兩勇士の市
葬(十四日)
本市では前線に華と散つた
平署で前線に華と散つた
平署で前線に華と散つた
平署で前線に華と散つた

亡父の冥福を祈る
幼き遺児二人
本田平署長泣く
昨日九日公葬に附、者の涙をこぼつた
れ、安慶の華、
中野村出身の若田
中野君の後に

視察の旅先から
本日四日天高波亦静かな
り、産業報國の目的を達
し、益々船中元節なり
明日支那に上陸して懸命
の視察致度候、幸に郷土
の出征軍人に會見出来れ
ば仕合せ
上海九にて
鈴木唯治
十月四日 船中の深夜

鈴木醫院
耳鼻咽喉科專門
鈴木正男
平月見所
電話三六二

常磐炭界を祝福
徳山炭田監督局の出張所
が其の創設を取沙汰されて
間もなく極めて急進に實現
された事は、炭産業者の

好問組頭
大河原氏就任
好問村消防組頭は渡邊清氏
の辞任によつて大河原茂氏
が就任せられ、十日午前十
時から平署で發會式を
舉行

先輩に感謝
市内久保町出身
酒井貞良君
過日の慰問袋滿洲の地、
頂き取るものも取らぬ
さ直ぐに開き見れば思はぬ
時に内地の品々、見るから
故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何
か、故郷懐かしさを感じし如何

視察の旅先から
本日四日天高波亦静かな
り、産業報國の目的を達
し、益々船中元節なり
明日支那に上陸して懸命
の視察致度候、幸に郷土
の出征軍人に會見出来れ
ば仕合せ
上海九にて
鈴木唯治
十月四日 船中の深夜

吉田眼科醫院
簡易金融
無盡貯蓄
趣味貯蓄
出張所縣内各町

鈴木醫院
耳鼻咽喉科專門
鈴木正男
平月見所
電話三六二